

# 4. 横への崩れのある利用者様

～前後方向の調整で改善しない側方への崩れ～

## 【生活の声】

- ・いつも左へ傾いている
- ・車いすの操作がかなり悪くなった
- ・食べこぼしが多い



いつも左側に傾いている

# 4. 横への崩れのある利用者様

～前後方向の調整で改善しない側方への崩れ～

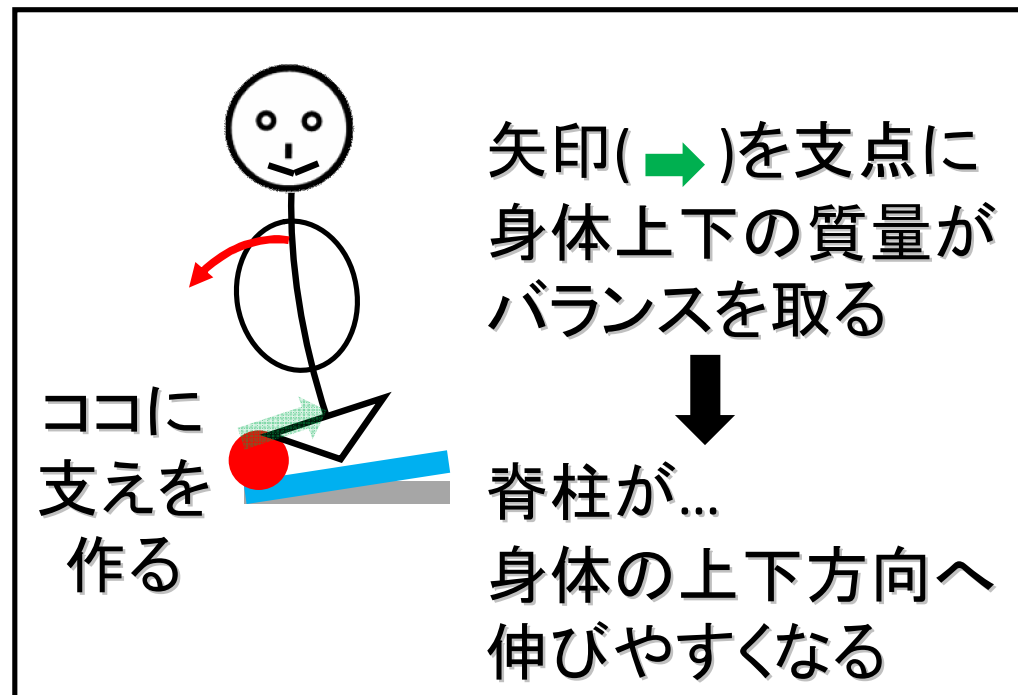
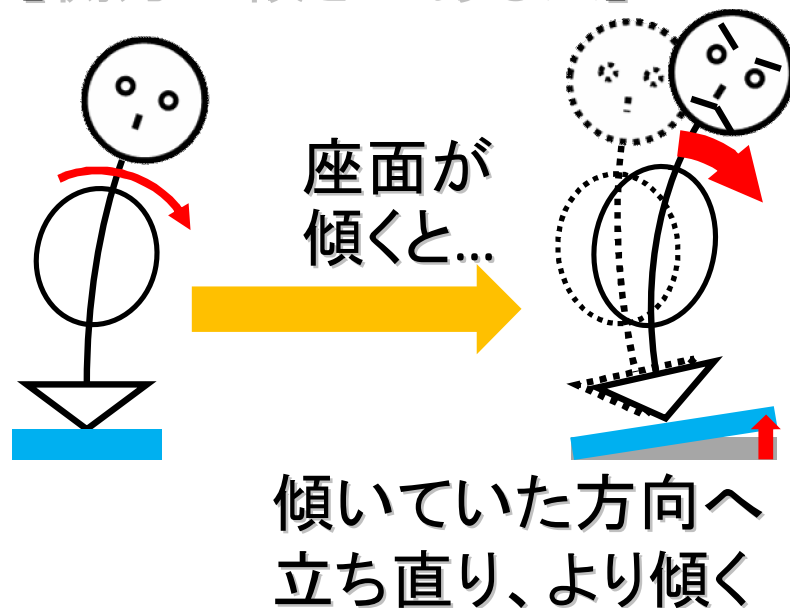
## 【車イスでの側方崩れへの対応】

☆前後方向の調整で改善しない場合が多い

身体の... **構造的な変化** or 機能的な変化

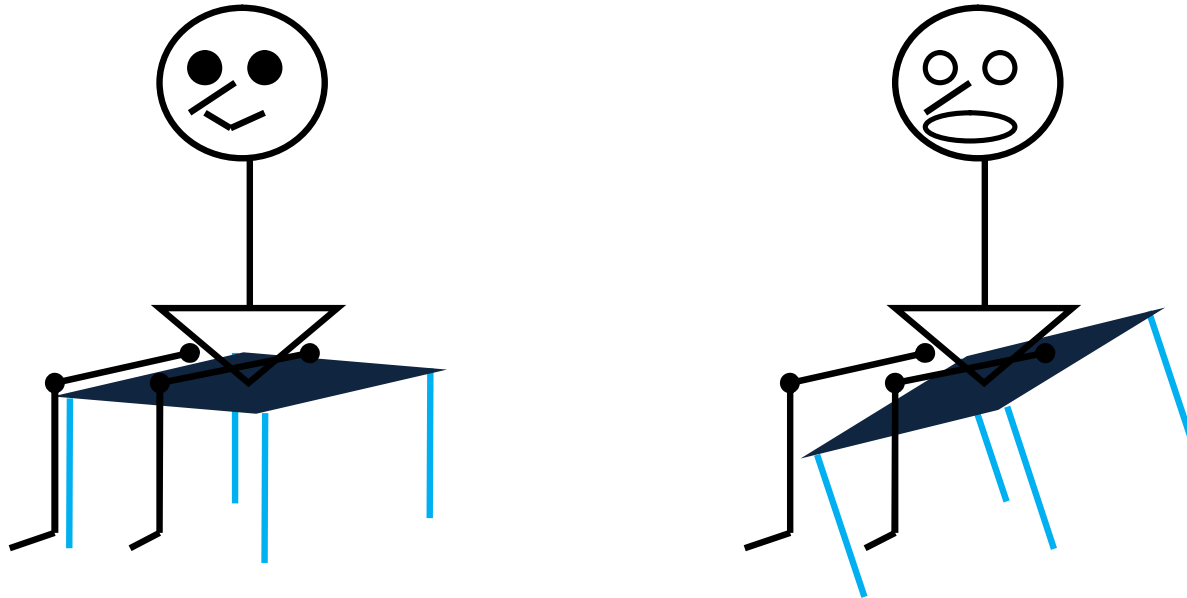
この部分が大きいケースが多い

### 【側方へ傾きのある人】

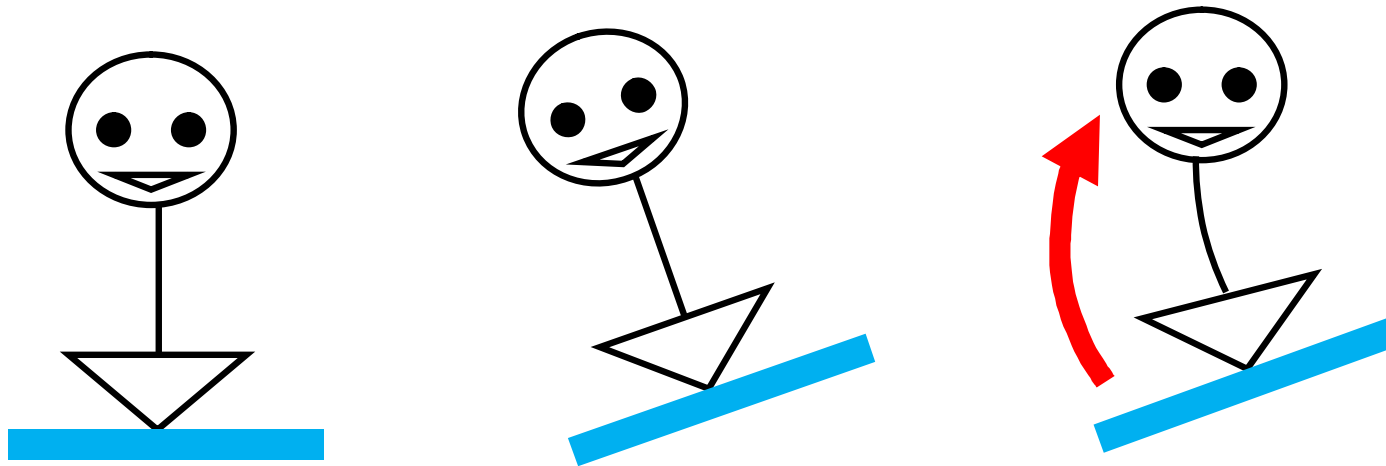


# ところで...

健全な人が椅子に座っているとき  
座面を傾けるとどうなるでしょう？



# 傾けると...



立ち直り反射により、垂直へ



単に座面の傾斜では傾きの修正は×  
立ち直りを抑制するような工夫が必要。

# 4. 横への崩れのある利用者様

～前後方向の調整で改善しない側方への崩れ～

Before/After

Before



After



## 【ポイント】

①座面の傾き

- ・左側に折ったタオル挿入
- ・左へ寄せて座る

②右側に支えとなる  
クッションを入れる

※座面の支持性は改善済み



# 4. 横への崩れのある利用者様

～前後方向の調整で改善しない側方への崩れ～

Before

After

Before/After



**【結果】**

Case1～3とほぼ同様

加えて...

右足接地の改善と  
右上肢の操作性改善



車いすの駆動にも  
改善が見られた

左右とも、同じポーズを取ってもらいました。  
同じに見えますか？

## 4.再び前潰れになった利用者さま

～座位保持能力の低下による車いすの不適合～



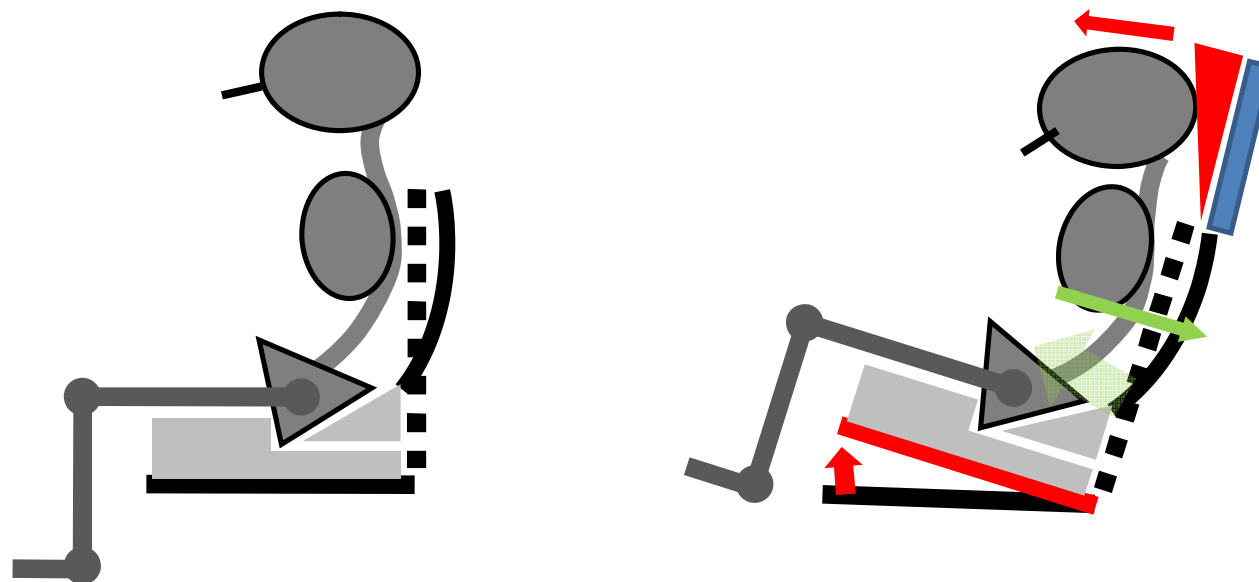
### 【生活の声】

Case1の利用者さま

- ・徐々に、体が起きた状態の座位を保持できる時間が短くなってきた
- ・再び、前へ潰れるようになってきた
- ・再び、ご飯が食べられなくなってきた

座位保持能力の低下による車いすの不適合

## 4.再び前潰れになった利用者さま



①頭頸部の良好なアライメントを保持

⇒頭頸部の支持が必要

※嚙下には上部頸椎～頭蓋骨が軽度屈曲位が有利

②上部体幹～頸部をできるだけ、楽に&直立位に保持

⇒ティルト・リクライニングにて対応



## 4.再び前潰れになった利用者さま



### 【ポイント】

- ①頭頸部の支持  
クッションも合わせて使用  
頭頸部のアライメント設定
- ②ティルトにて後方へ傾斜  
座位の安楽性 ↑  
自然な脊柱の伸び ↑  
坐骨の前すべり防止

座位保持能力の低下による車いすの不適合

# 4.再び前潰れになった利用者さま

Before/After

Before



Case1後



After



# 5. 姿勢の崩れが顕著な利用者さま

～色々な要素が複合した姿勢崩れ～



## 【生活の声】

- ・姿勢の崩れが強く見られる
- ・ご飯が食べられない。
- ・ムセがある
- ・痰が絡んでいることが多い
- ・誤嚥性肺炎を起こしたことがある



# 5. 姿勢の崩れが顕著な利用者さま

～色々な要素が複合した姿勢崩れ～



## 【問題点】

座面奥行きが過大

足板の高さが不足

円背あり

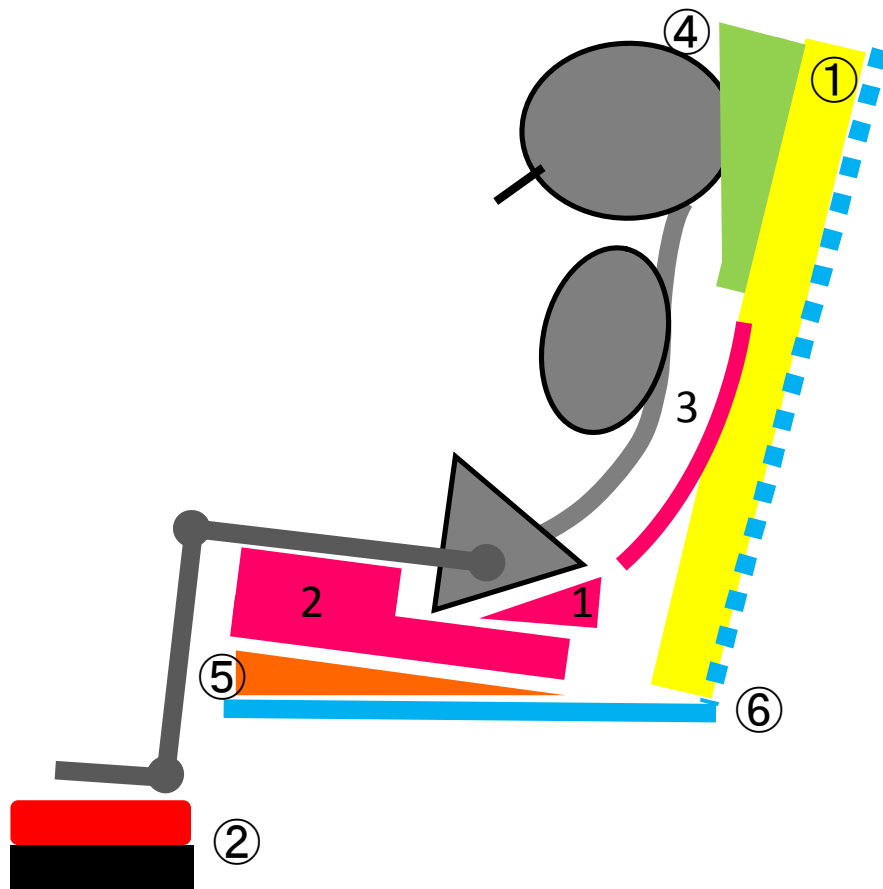
すべり座り

頭頸部のアライメント不良

左右への崩れもあり ...etc

# 5. 姿勢の崩れが顕著な利用者さま

～色々な要素が複合した姿勢崩れ～



## 【問題点】

- ① 座面の奥行きを調整
- ② 足板の高さを調整
- ③ 円背への対応
  - 1 骨盤サポート
  - 2 アンカーサポート
  - 3 胸郭サポート
- ④ 頭頸部の支持
- ⑤ ティルト: 座面後方傾斜
- ⑥ リクライニング



# 5. 姿勢の崩れが顕著な利用者さま

～色々な要素が複合した姿勢崩れ～

【矢状面】

Before/After

Before

After



# 5. 姿勢の崩れが顕著な利用者さま

～色々な要素が複合した姿勢崩れ～

【前額面】

Before/After

Before



After



# まとめ

” 高齢者施設における座位姿勢の崩れは、車イスを利用する利用者のQOLと密接に関係しており、その支援は重要なものである。

” 今回は、車椅子も、姿勢を支えるクッション類も限られた資源の中で、対応を実施した。

安全性や耐久性、快適性の点からは、適切なタイプの車椅子の選択や姿勢保持具やクッションの購入などにつなげることも重要である。

# 謝辞・終わりに

ご協力いただきました、  
利用者の皆様とそのご家族様に深く感謝いたします。

また、大変な日常の業務の中、  
協力してくれたスタッフにお礼申し上げます。

研修を通じ、ご教授いただきました大淵先生、  
その機会を提供してくれた全国高齢者施設看護師会 様に  
お礼申し上げます。

どうもありがとうございました。

感謝の気持ちを忘れずに  
今後も姿勢のケアに取り組んでいきたいと考えます。

社会福祉法人 朝日会 機能訓練指導員(PT) 青柳 正寛

# 参考文献など

- ・大淵 哲也 先生 研修

- ①「座位困難な利用者の姿勢・座位調整と車椅子の工夫のポイント」:2013.全国高齢者施設看護師会主催

- ②拘縮が強い利用者の進行させない拘縮予防と有効なポジショニング:2013.全国高齢者施設看護師会主催

- ・西村重男 先生:

- 「骨盤サポート付き車椅子の扱いについて ~アクティブバランスシーティング(ABS)の考え方~」. 日本リハビリテーション工学協会 第37回 車いすSIG講習テキスト. 2013

- 「アクティブバランスシーティングの考え方」. 日本リハビリテーション工学協会 第34回 車いすSIG講習テキスト. 2011